

[042] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1498407>

出版情報：九州大学東洋史論集. 42, 2014-03-31. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

編集後記

本号には、七つの雄編を掲載することができました。

福永善隆、長谷川順二、戸川貴行の各氏は現在それぞれ鹿児島大学、学習院大学、東京大学においてご活躍で、次代の漢六朝史をになうホープと言えるでしょう。

劉可維、史習隼、郭陽、童徳琴の各氏は、現在、本研究室博士課程に在籍している留学生です。

劉氏は既に史学雑誌などに論文が掲載されておりますが、漢唐間の葬送儀礼について精緻な研究を行っております。郭、童両氏のものは処女論考です。宜しくご検討ください。

この場をかりて、本号にご寄稿頂いた各位、及び関係者の方々に対し、厚く御礼申し上げます。

なお、私事で恐縮でございますが、本号をもちまして、川本は編集担当から降ろさせて頂くことになりました。

これまでご支援ご鞭撻頂いた諸兄姉の皆様方に対し厚く御礼申しあげる次第でございます。思い返しますと、大

学紛争の余塵の燻るなか『東洋史学』の後を継ぎ復刊された本『東洋史論集』1号の折から本誌と関わり、九州大学に職を得てから一貫して本誌の編集を担ってまいりました。様々な思いが過ぎり、感慨深いものがあります。同時に、まがりなりにも何とか重責を果たすことができたかと、安堵の感を抱いているところでもございます。

今後の定期的刊行は盤石とってはおりますが、会員諸兄姉の皆様方の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(川本)